

競技者注意事項

- 1 規則 2022年度日本陸上競技連盟、本大会要項および本大会申し合わせ事項を適用する
- 2 変更・訂正 選手・種目の変更は認めない。プログラムに誤記がある場合は、8時30分までに総務係に申し出る。競技の運営上、開始予定時刻が変更される場合がある。
- 3 練習 練習は競技場内で行う。バックストレートにレーンを設定する。ただし、投擲跳躍の練習は審判員の指示により競技場ピットで行う。また、朝の練習はホームストレート、バックストレート共に1,2レーンジョック、3,4,5,6レーンバトン練習、7,8レーンスピード練習とする。なお、ハードル練習は昼に設定する。
- 4 競技用靴について 2022年日本陸上競技連盟競技規則TR5:2及び(国内)競技用靴に関する主要規則を適用する。靴底の厚さが800mm未満のトラック種目(ハードル含む)は20mm、800mm以上のトラック種目は25mmを超えるシューズを使用することはできない。本競技会において、フィールド種目は適用除外とする。
- 5 アスリートビブス アスリートビブスは胸、背部に確実につける。(跳躍競技はどちらか一方でもよい)トラック競技においては写真判定を行う。100m,200m,400m,400mR,ハードル競技は腰ナンバー標識は使用しない。800m,1500m,3000mは本部で腰ナンバー標識を用意するので招集の時に各自が受け取りパンツ右側やや後方に確実につける。また、3000mは特別ナンバーカードを使用するので招集の時に受け取る。なお安全ピンは各自で用意する。
- 6 招集(コール) 出場者は自分の出場する種目ごとに、アスリートビブス・スパイク・シューズ等のチェックを本人が受けること。招集に遅れた場合は棄権とする。棄権については、必ず競技者係に届け出ること。

トラック競技

 - ・招集場所(競技者係)は、100mスタート地点後方に設ける。
 - ・招集時間は、競技開始予定時刻の40分前から30分前まで、その後スタート地点に10分前に集合する。

フィールド競技

 - ・各ピットに集合し招集を行う。
 - ・招集時間は、競技開始予定時刻の45分前から30分前までとする。

リレー競技

 - ・共通リレーのオーダー用紙は、競技開始2時間前~1時間前までに競技者係へ提出する。
 - ・1年生リレーのオーダー用紙は、朝の打ち合わせで、顧問が本部へ提出する。
 - ・招集場所(競技者係)は、100mスタート地点後方に設ける。
 - ・招集時間は、競技開始予定時刻の40分前から30分前まで、その後スタート地点に10分前に集合する。
- 7 スパイク スパイクのピンは、走高跳12mm以下、他は9mm以下
- 8 走高跳バーの上げ方 男子1m20cm、女子1m00cmから競技を開始する。以後のバーの上げ方は5cm単位とする。競技開始前の練習および雨天時の高さは、審判主任の指示による
- 9 競技方法 ①トラック競技はすべてタイムレースとする。
②フィールド競技は3回の試技とし、走幅跳と砲丸投は、トップ8の選手も4回目以降の試技は行わない。
- 10 スタート ①スタート時の不正行為は警告を与えられることがある。本大会は種目ごとの累積とし、同一種目のイエローカードで当該種目のみ失格とする。ただし競技会から除外はしない。
②800mはセパレートレーンでスタートを行う。
- 11 表彰 競技終了後学校で一括して受け取る
- 12 その他 ①朝、各校責任者は本部前に集合し、参加料と参加状況報告書を提出すること。
②各自、各校はマナーを守り、ゴミの処理、所持品の管理に留意する。また、ビニール袋を持参し表にアスリートビブスのナンバーを書き競技に参加すること。
③記録発表については、2階中央ゲート付近に掲示する。密にならないで確認すること。
④競技終了後フィニッシュ地点のところで消毒をすること。
⑤競技会で発生した傷害については、主催者側で応急処置を行う。
⑥声を出しての応援は行わない。
⑦生徒が入場後2階ゲートは閉鎖する。途中からの出入りは1階正面から行う。
ただし、練習等の為に競技場外へ出ることはできない。途中での入退場は顧問の付き添いのもとで行うことを原則とする。また、保護者の応援、見学は一切認めない